

令和 4 年度
成田市中学生議会
会議録

令和 4 年 8 月 17 日（水）開会

成田市
成田市教育委員会

目 次

●質問一覧（発言順）	2
●議事日程	3
●出席した中学生議員	4
●職務のため出席した中学生議会事務局職員	4
●説明のため出席した者	4
●開会及び開議の宣告	6
●議長選挙	6
●市長あいさつ	8
●議席の指定	9
●会議録署名議員の指名	9
●会期の決定	9
●代表質問（各校質疑応答）	10
①遠山中学校	10
②西中学校	12
③公津の杜中学校	16
④大栄みらい学園	19
⑤成田高等学校附属中学校	21
⑥吾妻中学校	25
●市長の講評	28
●閉会の宣告	29

質問一覧（発言順）

1. 遠 山 中 学 校・・・ 成田市の交通・防犯対策について
2. 西 中 学 校・・・ 成田市の国際化施策について
3. 公 津 の 杜 中 学 校・・・ （仮称）土屋駅の設置とまちづくりについて
4. 大 栄 み ら い 学 園・・・ 成田市の農業問題について
5. 成田高等学校附属中学校・・・ 成田市のコロナ対策について
6. 吾 妻 中 学 校・・・ 成田市の教育施策について

議事日程について

このことについて、下記のとおり定めましたので通知します。

成田市中学生議会議長

記

議事日程第1号

令和4年8月17日午後1時25分開議

第1 議席の指定

第2 会議録署名議員の指名

第3 会期の決定

第4 代表質問

○出席した中学生議員（12名）

こ ぼり ほの か 小 堀 朋 華 議員	遠山中学校 2年生	みや じま ゆ か り 宮 島 優香璃 議員	西中学校 3年生
はっ とり たく ま 服 部 拓 磨 議員	西中学校 3年生	い とう あか り 伊 藤 朱 里 議員	公津の杜中学校 3年生
つじ ー あ み 辻 天 心 議員	公津の杜中学校 2年生	つつみ あお い 堤 碧 弥 議員	大栄みらい学園 9年生
いい もり み く 飯 森 美 歩 議員	大栄みらい学園 9年生	か せ やま と 加 瀬 大 翔 議員	成田高等学校 附属中学校 2年生
い とう かず き 伊 藤 和 輝 議員	成田高等学校 附属中学校 2年生	た だ あつ き 多 田 敦 紀 議員	吾妻中学校 2年生
さい ごう ゆい か 齊 郷 唯 香 議員	吾妻中学校 2年生	えん どう り の 遠 藤 莉 乃 議員	吾妻中学校 2年生

○説明のため出席した者

市 長 小 泉 一 成	副 市 長 関 根 賢 次
教 育 長 関 川 義 雄	企画政策部長 木 下 敬
総 務 部 長 清 水 活 次	財 政 部 長 篠 塚 岳 史
シティプロモーション 部 長 野 村 吉 男	市民生活部長 谷 平 裕 美
健康こども部長 高 橋 一 夫	経 済 部 長 鬼 澤 正 春
教 育 部 長 堀 越 正 宏	秘 書 課 長 菅 谷 友 則

○職務のため出席した中学生議会事務局職員

市民協働課長 内 田 啓 子	教育指導課長 廣 田 一 利
市民協働課 市民相談室長 森 川 暁	教育指導課指導主事 中 村 公 治

市民協働課主査

藤 江 達 彦

市民協働課主任主事

渡 部 咲 希

議会事務局副主査

日 改 祐 希

議会事務局主任主事

齋 藤 和 輝

◎開会及び開議の宣告

○臨時議長（市民協働課長） 私は、市民協働課長の内田と申します。議長が選出されるまでの間、仮議長を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

今議会においては、新型コロナウイルス感染症に関する対応としまして、出席者は必ずマスクを着用し、飛沫飛散防止パネルが設置された演壇等を除き、発言はマスクを着用したままで行うこと、演壇以外での発言は着席のままで行うこと、議場の扉を開け換気を十分に行うこと、執行部職員の出席を必要最小限とすることなどにより、集団感染の発生防止や感染リスクの軽減などに配慮した議会運営を行いますのでご了承願います。

◎議長選挙

○臨時議長（市民協働課長） これより、議長の選挙を行います。議場の閉鎖を命じます。

〔議場閉鎖〕

ただ今の出席議員数は 12 名です。投票用紙を配付いたします。

〔投票用紙配付〕

配付漏れはありませんか。配付漏れなしと認めます。

投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

異状なしと認めます。念のため申し上げます。投票は単記無記名であります。投票用紙に被選挙人の氏名を記載のうえ、点呼に応じて順次投票を願います。点呼を命じます。

〔点呼〕

〔投票〕

投票漏れはありませんか。

投票漏れなしと認めます。投票を終了いたします。議場の閉鎖を解きます。

〔議場開場〕

これより開票を行います。立会人に西中学校 服部拓磨議員、公津の杜中学校 伊藤朱里議員を指名いたします。両議員の立ち会いを願います。

〔開票〕

選挙の結果を報告いたします。

投票総数 12 票、これは、先程の出席議員数に符合しております。

そのうち有効投票 12 票

無効投票 0 票

有効投票中 吾妻中学校 遠藤莉乃議員 12 票

以上のとおりであります。

よって、吾妻中学校 遠藤莉乃議員が議長に当選されました。当選されました遠藤議員が議場におられますので、本席より当選の告知をいたします。

以上をもちまして、私の職務は終了いたしました。ご協力ありがとうございました。ここで議長と交代いたします。遠藤議長は、議長席にお着き願います。

〔新議長着席〕

(午後 1 時 33 分)

○議長(遠藤莉乃議員) 私は、本日の議長を努めさせていただきます吾妻中学校 2 年の遠藤莉乃です。中学生議会の円滑な議事進行に、皆さまのご協力をお願いいたします。

本日の出席議員数は、12 名であります。定足数に達しておりますので、これより「令和 4 年度成田市中学生議会」を開会いたします。

(午後 1 時 34 分)

◎市長あいさつ

○議長（遠藤莉乃議員） 議事に入る前に、小泉市長のあいさつをお願いいたします。
小泉市長。

〔市長 小泉一成 登壇〕

○市長（小泉一成） 本日ここに、「令和４年度成田市中学生議会」を招集したところ、貴重な夏休み期間にもかかわらず、中学生議員の皆さんにご出席をいただき、誠にありがとうございます。

今回で１８回目を迎える中学生議会は、開かれた市政の一環として、中学生の皆さんから直接、市政に対する意見や要望をいただき、今後の市政運営に反映していくために開催しています。

今年も、参加校を約半分とし、市内６つの中学校から１２名の中学生議員の皆さんにお集まりいただきました。

こうして中学生議員の皆さんの顔を拝見しますと、これから始まる中学生議会に対する熱い意気込みが伝わり、大変頼もしく感じています。

この広い議場で、意見を述べることは、緊張するかも知れませんが、将来の成田市、そして日本を担っていく、若い皆さんからの要望や、柔軟な感性から出された意見をお伺いしたいと思いますので、大きな声で、自信をもって発言していただければと思います。

そして、市議会の雰囲気を感じながら仲間の中学生議員からの質問や、市からの答弁を聞くことで、市政をより身近なものとして感じ、社会への関心や参画意識を高めてもらう機会としていただきたいと思います。

結びに、中学生議会が、皆さんにとりまして、実り多いものとなりますことをご期待申し上げ、挨拶といたします。

（午後１時３７分）

◎議席の指定

○議長（遠藤莉乃議員） これより、議事日程に入ります。

日程第 1、議席の指定を行います。各議員の議席は、ただ今ご着席の議席を指定いたします。

（午後 1 時 37 分）

◎会議録署名議員の指名

○議長（遠藤莉乃議員） 次に、日程第 2、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、大栄みらい学園 堤碧弥議員、成田高等学校附属中学校 加瀬大翔議員、以上 2 名を指名いたします。

（午後 1 時 37 分）

◎会期の決定

○議長（遠藤莉乃議員） 次に、日程第 3、会期の決定を議題といたします。お諮りいたします。今議会の会期は、本日 1 日としたいと思いますが、ご異議ございませんか。

〔各議員より「異議なし」の発声あり〕

○議長（遠藤莉乃議員） ご異議なしと認めます。よって今議会の会期は、本日 1 日とすることに決定しました。

（午後 1 時 37 分）

◎代表質問（各校質疑応答）

○議長（遠藤莉乃議員） 次に、日程第 4、各中学校からの代表質問を行います。

●遠山中学校

○議長（遠藤莉乃議員） 初めに、遠山中学校 小堀朋華議員。

〔遠山中学校 議員 1 名 登壇〕

○小堀朋華議員 私は、成田市立遠山中学校 2 年の小堀朋華です。

成田市が行っている交通・防犯対策についてお伺いいたします。

私は、普段から自転車を利用することが多く、自転車の一時停止や並列走行の違反が多いと感じています。自転車で遊びに行く時や登下校中に怪我をする人や事故が子どもだけでなく、大人にも多く見受けられるように感じます。

このことから、成田市内の交通パトロールを、春や長期休暇だけでなく、頻繁に行った方が私達も安心して過ごしていけると考えます。また、交通パトロールを警察だけでなく、地域の方々と協力して行うことで、私達の安全を守るとともに、地域の方々との交流も増えると考えます。このことから、地域の活性化と明るい成田市を築くことに繋がると考えています。

そこでお伺いいたします。成田市内の交通パトロールはどのように行われているのでしょうか。市としての見解をお聞かせください。

○議長（遠藤莉乃議員） 小泉市長。

〔市長 小泉一成 登壇〕

○市長（小泉一成） 小堀朋華議員の交通パトロールについてのご質問にお答えいたします。

近年、自転車や自動車などの交通ルールを守らない危険な走行が社会問題となっており、本市といたしましても、警察など関係機関と連携し、市民一人ひとりの交通安全意識を向上させるため、毎年、小中学生へ交通安全に関する啓発物資やチラシなどを配布するとと

もに、交通ルール遵守の呼びかけ等を広報なりたに掲載するなど、交通事故防止に取り組んでおります。

交通事故等を未然に防止するため、警察により市内巡回が行われておりますが、本市におきましては、青色回転灯パトロール車により、下校途中の児童生徒に交通安全の声かけや、見守り活動を行っております。

また、各学校においては、PTA や地域ボランティアと連携し、定期的に学校や地域の実情に合わせた形で見守り活動を行っております。

自転車の乗り方を含めた交通ルールを守るとは、事故を防ぎ、命を守るためにも、全ての人が最低限守るべきことであり、市民一人ひとりのモラルの問題であることから、本市といたしましては、引き続き市民のモラル向上を図るため、警察など関係機関と連携し、交通ルール遵守についての啓発に努めてまいります。

○議長（遠藤莉乃議員） 小堀議員。

〔遠山中学校 小堀議員 質問席で発言〕

○小堀朋華議員 ご答弁ありがとうございます。質問を続けます。

私は、最近、自転車での事故などだけでなく、不審者が出ることも増えてきていて、不安を感じることがあります。このことから、今後の成田市には、不審者や空き巣被害などの防犯対策が必要であると考えておりますが、市としてどのように考えているのか、お答え願います。

○議長（遠藤莉乃議員） 谷平市民生活部長。

〔市民生活部長 谷平裕美 自席で発言〕

○市民生活部長（谷平裕美） 不審者や空き巣被害などの防犯対策についてのご質問にお答えいたします。

犯罪を未然に防止するためには、不審者などが嫌う「視線」、「光」、「音」の3つの観点から対策することが重要と言われております。本市では、「視線」の観点からは、人から見られていると意識させるため、青色回転灯パトロール車の運行や防犯カメラの設置を、「光」の観点からは、不審者が隠れる暗闇を少しでもなくすため、防犯灯の設置管理を行

い、「音」の観点からは、身の危険を周囲に知らせ、不審者などを威嚇し追い払えるよう小中学生への防犯ブザーの貸し出しなどの対策を行っております。

防犯対策には、行政だけでなく地域の協力が必要不可欠なことから、地域防犯推進員や区・自治会から推薦された防犯指導員、さらには、市内 60 を超える自主防犯活動団体により、パトロールや通学路の見守り活動を行っていただいております。本市では、これらの市民活動に対し、警察官 OB によるパトロール指導や青色合図灯などの防犯活動に必要な物品の貸し出しを行い、活動の促進を図っております。

引き続き、地域と行政の連携により、安全で安心して暮らせる地域社会を目指してまいります。

○議長（遠藤莉乃議員） 小堀議員。

〔遠山中学校 小堀議員 質問席で発言〕

○小堀朋華議員 ご答弁ありがとうございました。成田市が行っている交通防犯対策についてたくさん学ぶことができました。また、私たちが安心して過ごせるには、自分たちも自転車の乗り方や交通規則等を守っていくとともに、交通防犯対策を通して見守ってくださっている大人の方、地域の人への感謝を忘れずに過ごしていきたいです。そして、これからも笑顔で安心安全に暮らせるような成田市であるために、私たち若い世代から地域の方々、大人の方々と協力していければ良いと思います。

これで遠山中学校の質問を終わりにします。

（午後 1 時 45 分）

●西中学校

○議長（遠藤莉乃議員） 次に、西中学校 宮島優香璃議員及び服部拓磨議員。

〔西中学校 議員 2 名 登壇〕

○宮島優香璃議員 私は、西中学校 3 年の宮島優香璃です。

成田市が行っている、国際化施策についてお伺いいたします。

私は、幼い頃から演劇に憧れを抱いており、将来は海外で活躍できる舞台女優になりたい

いと考えております。そのため、日々の英語学習に力を注いでおります。また、私の母はフィリピン人で、日頃の家族でのやり取りにも英語を使うことがあります。学校の英語の授業では、文法事項等学ぶことが多く、日常会話や独特の表現をもっと知りたいと思うことがあります。

そこで、伺いたいします。「NARITAみらいプラン」基本目標の中の「国際性豊かなまちづくり」において、「英語によるコミュニケーション能力の育成を目指す」とあります。市として、主に小・中学校の英語教育における具体的な手立てをどのように考えているのか、お答え願います。

○議長（遠藤莉乃議員） 関川教育長。

〔教育長 関川義雄 登壇〕

○教育長（関川義雄） 宮島優香璃議員の英語教育についてのご質問にお答えいたします。

日本と海外の窓口である成田国際空港がある本市は、多くの外国人が訪問・滞在する国際都市となっており、今後も、その役割はさらに大きくなると見込まれます。このような状況から、成田の将来を担う児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の育成を図ることは、大変重要であると考えております。

本市は、現在、文部科学省から「教育課程特例校」に認定されており、特別な教育課程に基づき、英語教育を行っております。

具体的な内容といたしましては、小学校では、通常、第3学年から英語教育を実施するところを、本市では、第1学年から実施しており、英語に慣れ親しむカリキュラムとなっております。また、体験的なコミュニケーション活動を中心とした英語科授業を実施することで、積極的にコミュニケーションを図るための能力の育成を図っております。

また、中学校では、通常、年間140時間の英語科授業を実施するところ、本市では、この授業に加えて、聞く、話す活動を中心とした自己表現活動を15から18時間程度増やして実施しており、英語に慣れ親しみ、物おじせずに外国の方と接する態度をさらに伸ばすことを目指しております。このように、9年間を通して段階的に英語でコミュニケーションを図るための資質・能力の育成に努めております。

本市の英語科授業の大きな特徴としては2つ挙げることができます。1つ目の特徴といたしましては、市内小中義務教育学校の全ての英語の授業に外国人英語講師、いわゆるALTを配置していることが挙げられます。これは、ALTとのやりとりに重きを置き、対話的なコミュニケーションを大切にした授業となるよう努めているためです。また、ALTは自分の国や外国の文化を伝える役割も果たしており、英語教育のみならず、国際理解教育の面においても貢献しております。

2つ目の特徴といたしましては、本市独自の英語科の年間指導計画を持っていることが挙げられます。これは、これまで十数年間をかけて作り上げてきた本市独自の指導計画や、全ての授業を同じ形態で実施できる指導計画であり、作成委員となっている小中学校の先生方が毎年検討を重ね、改善、改訂を繰り返して作り上げているものであります。

これらの内容につきましては、市内小中義務教育学校の英語を担当する先生方の研修会において説明しており、本市の全ての学校で足並みをそろえて取り組んでおります。

本市の英語教育が、宮島優香璃議員のように、将来海外で活躍しようとする強い意志を持ち、夢の実現に向けて自ら成長しようとする児童生徒を育てていくことに貢献できるよう、今後も力を尽くしてまいります。

○議長（遠藤莉乃議員） 服部議員。

〔西中学校 服部議員 質問席で発言〕

○服部拓磨議員 私は、西中学校3年の服部拓磨です。ご答弁ありがとうございます。質問を続けます。

成田市では、姉妹都市であるアメリカのサンブルーノ市やニュージーランドのフォクストンとのホームステイ交流を行っているとのことですが、英語圏以外の姉妹都市である中国の咸陽市や韓国の仁川、井邑市、台湾の桃園市とのホームステイ交流を行ったらどうかと考えますが、市としてどのようにお考えでしょうか。また、交流にかかる費用や人的支援などはどのように考えているのか、お答えをお願いします。

○議長（遠藤莉乃議員） 野村シティプロモーション部長。

〔シティプロモーション部長 野村吉男 自席で発言〕

○シティプロモーション部長（野村吉男） 服部拓磨議員の姉妹都市とのホームステイ交流についてのご質問にお答えいたします。

まず、英語圏以外の友好都市との交流についてであります。本市では、これまで成田市国際交流協会と連携し、韓国井邑市と青少年ホームステイ交流を行ってまいりましたが、社会情勢を踏まえ、現在は休止しております。

このほかにも中国咸陽市とは卓球大会を通じて、韓国仁川広域市中区とはサッカー大会を通じて交流を図ってまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、現在は休止しております。なお、これらのスポーツ交流につきましては、新型コロナウイルス感染症が収束した際には、改めて交流を行ってまいりたいと考えております。

また、本年4月29日には、本市と台湾桃園市との学生同士のオンライン交流を行うなど、対面によらない新たな交流の場を設け、友好都市との交流を続けてまいります。

次に、交流にかかる費用や人的支援などについてであります。本市では、市民参加による国際交流の推進と交流団体の育成を目的に、成田市国際交流協会に対して、友好都市への訪問団の派遣にかかる旅費の一部などを補助しております。また、国際交流は行政のみが行うのではなく、市民の皆様が主体となって行われることが重要であることから、訪問団受け入れの際には成田市国際交流協会に登録している語学ボランティアの皆様にご協力いただくなど、今後も関係団体と連携を図りながら、交流事業の推進に取り組んでまいります。

○議長（遠藤莉乃議員） 服部議員。

〔西中学校 服部議員 質問席で発言〕

○服部拓磨議員 ご答弁ありがとうございました。私は、成田で生まれ育ち、豊かな環境の中で自分らしく毎日過ごしております。他の地域と比べることはできませんが、僕が住む成田ニュータウンはとても環境に恵まれていると感じます。欲を言えば、先程質疑にもありましたが、国際空港がある成田市で、小中学校の頃から交換留学などの活発な国際交流が今以上に行われることを希望します。そして、将来、国際感覚が豊かな人が増え、世界へ羽ばたき活躍して欲しいです。自分もその中の一人でありたいと強く思います。

これで西中学校の質問を終わります。

(午後 1 時 56 分)

●公津の杜中学校

○議長（遠藤莉乃議員） 次に、公津の杜中学校 伊藤朱里議員及び辻天心議員。

〔公津の杜中学校 議員 2 名 登壇〕

○伊藤朱里議員 私は、公津の杜中学校 3 年の伊藤朱里です。

成田市が行っている都市づくりについてお伺いいたします。

私は、普段からイオンモール成田を利用する機会があります。その際の移動手段として、車やバス、自転車を利用しています。しかし、子どもだけで行こうとするとバスや自転車での移動となるため、時間がかかります。また、安全面のことも考えると、子どものみの移動は危険が伴います。そのための対策として、成田市も検討されている（仮称）土屋駅の設置を推奨したいと考えます。（仮称）土屋駅ができることにより、イオンモール成田周辺の交通網の利便性が向上するとともに、子どもたちの安全性も守られると考えます。また、駅ができることにより成田空港からの観光客の増加が見込まれ、商業や観光業の活性化も期待できると思います。これらの議論は今までも行われてきたと思いますが、今一度必要性を考え直すことが必要ではないでしょうか。市としてどのようにお考えか、お答えをお願いします。

○議長（遠藤莉乃議員） 小泉市長。

〔市長 小泉一成 登壇〕

○市長（小泉一成） 伊藤朱里議員の（仮称）土屋駅の設置についてのご質問にお答えいたします。

まず、大型商業施設をはじめ、さまざまな店舗が集まる土屋地区への新駅の設置につきましては、市民の皆様の利便性の向上と地域の活性化に大きな役割を果たすものと考えておりますことから、平成 22 年の成田スカイアクセス線の開業に合わせ、土屋駅及び現在の成田湯川駅である成田ニュータウン北駅の 2 駅について、国や鉄道事業者などに対して

要望活動を行いました。しかしながら、駅利用者の将来予測を行った結果、土屋駅につきましては、収支採算性に見合う鉄道利用客が見込めないことから、設置が見送られた経緯があります。

その後も、本市では、地元の土屋地区をはじめ多くの市民の皆様からご要望をいただいていたことなどの経緯を踏まえまして、土屋駅の設置に向けて取り組んできたところであり、令和２年度には、改めて、駅利用者の将来予測を行いました。が、駅利用者数の見込みなどの鉄道需要につきましては、以前と比較しても、大幅な拡大は認められませんでした。

新たな駅の設置につきましては、鉄道事業者の理解が得られない限り、事業の進展が見込めない状況であります。が、本市といたしましても、土屋駅を設置することにより、成田空港からの外国人観光客などの増加が見込まれ、商業や観光業などの活性化が期待できるとともに、通勤や通学に利用される市民の皆様の利便性の向上が図られるものと考えておりますことから、今後も、鉄道需要の推移を見守りながら、土屋駅の持つポテンシャルについて、鉄道事業者に訴えてまいります。

○議長（遠藤莉乃議員） 辻議員。

〔公津の杜中学校 辻議員 質問席で発言〕

○辻天心議員 私は、公津の杜中学校２年の辻天心です。

ご答弁ありがとうございます。質問を続けます。

私は、インターネットで外国人の方が来日した時に、案内表示が多言語対応できていないと困っているということを知りました。そこで、提案です。いろいろな言語に対応した無料のマップ、パンフレットの配布や外国語の翻訳機の貸し出しを行うことで観光客の方が安心して成田市の観光を楽しむことができると思います。市としてのお考えをお聞かせください。

○議長（遠藤莉乃議員） 野村シティプロモーション部長。

〔シティプロモーション部長 野村吉男 自席で発言〕

○シティプロモーション部長（野村吉男） 辻天心議員の外国人観光客への観光支援についてのご質問にお答えいたします。

本市では、外国人観光客が手軽に観光情報を入手できるよう、日本語版に加え、英語版、中国語の繁体字版と簡体字版、韓国語版、タイ語版の計 6 つの言語で観光ガイドマップを作成しており、これらは、成田空港や成田市観光案内所、成田観光館のほか、市内のホテルなどで配布しております。また、成田市観光協会のホームページ「FEEL 成田」においても、同様の 6 言語で観光情報の提供を行っております。

さらに、多言語に対応する案内板を、JR 成田駅及び京成成田駅前や成田観光館など計 8 か所に、また、日本語と英語に対応する看板を、さくらの山など 4 か所に設置しております。

なお、翻訳機の貸し出しは行っておりませんが、成田市観光案内所や成田観光館では、英語での対応が可能なスタッフが常駐しており、英語以外での言語の対応については、「日本政府観光局」による中国語と韓国語の電話通訳サービスを使用しております。また、現在、無料の多言語音声翻訳アプリや翻訳サイトが多数ありますので、外国人観光客の皆様には、それぞれ使いやすいものを用いながら市内の観光を楽しんでいただきたいと思います。

○議長（遠藤莉乃議員） 辻議員。

〔公津の杜中学校 辻議員 質問席で発言〕

○辻天心議員 ご答弁ありがとうございます。私は、ニュースの方で、千葉県は全国で最も英語力が高いということを知り、とても驚きました。これは、日本の玄関の成田空港のある成田市にとっては、とてもいい強みだと思います。たくさんのおもてなしで、たくさんの外国の方に喜んでもらえる成田、そして、地域の方が誇りに思う素敵な成田であることをこれからも祈っています。また、私たちの故郷である成田の文化や芸能に触れたり、施設を利用したりしたいと思います。

これで公津の杜中学校の質問を終わります。

（午後 2 時 5 分）

●大栄みらい学園

○議長（遠藤莉乃議員） 次に、大栄みらい学園 堤碧弥議員及び飯森美歩議員。

〔大栄みらい学園 議員 2 名 登壇〕

○堤碧弥議員 私は、大栄みらい学園 9 年の堤碧弥です。

成田市の農業従事者の高齢化対策について伺いいたします。

現在、全国的に農業従事者が減少していますが、成田市の農業従事者も、平成 17 年の 11,569 人から、令和 2 年には 5,055 人に減少しており、65 歳以上の高齢者が占める割合は約 4 割となっています。また、大栄地区は、成田市の中でも農業が活発に行われており、後継者不足は深刻な問題となっています。原因として挙げられるのは、若い世代の人が農業の職に就こうとする機会が少ないことです。農家は、就農するときの農機具を揃えるときなどに経済的な負担が大きく、また、自然災害により農作物の収穫ができないことがあるため、若い世代の印象があまり良くないと考えられます。その結果として、世代交代がうまくいかず、農業従事者の高齢化に繋がってしまいます。市として、農業従事者の高齢化への対策を何か行っているのかお答え願います。

○議長（遠藤莉乃議員） 小泉市長。

〔市長 小泉一成 登壇〕

○市長（小泉一成） 堤碧弥議員の農業従事者の高齢化対策についてのご質問にお答えいたします。

まず、本市では、農業従事者の高齢化への対策として、「人・農地プラン」の作成の推進に取り組んでおります。「人・農地プラン」とは、地域での話し合いを通じて、地域農業が 5 年後、10 年後に直面する問題を認識し、共有するとともに、今後の地域農業の在り方や地域の中心となる経営体の将来展望などを明確化し、地域農業の今後の問題に対する方針を合意形成する計画です。この「人・農地プラン」作成の過程で、例えば、現在若い農業従事者が順調に耕作を行っている農地は青色、今後若い農業従事者が耕作する予定となっている農地は黄色、現在高齢の農業従事者が耕作しており、今後若い農業従事者に参入してもらいたい農地は赤色といったように地図にまとめ、高齢化が深刻な状況になっ

ているエリアを明らかにし、今後地域の農業を担っていく若い農業従事者や精力的な農業法人にそういったエリアへの参入を促しております。

そのほかにも、市の単独事業として、高齢などの理由で農業の継続が難しいと考えている農業従事者が、地域の担い手に農地を一定期間貸し出す契約を行った際に、貸し手・借り手の両者に補助金を交付することで、世代交代を促す事業も実施しております。

また、若い世代の方にも農業に魅力を感じてもらえるよう、広報なりたの昨年 11 月 1 日号では 13 ページにわたる特集を組み、若い農業従事者がやりがいと可能性に満ちた仕事であると感じていることなど、農業の魅力を発信するとともに、市のホームページにおいて、若い農業従事者の SNS のリンクを貼り、活動状況などの情報を発信しているところです。さらに、成田空港の隣接地に本年 1 月にオープンしたワンストップ輸出拠点機能を備えた新生成田市場を活用し、農産物を海外へ輸出するなど、成田の農業が若い世代の方にも魅力のある職業となるよう取り組んでいきたいと考えております。

今後においても、「人・農地プラン」の作成を推進し、農地の集約による規模拡大によって効率的に農業経営ができるようにするとともに、成田の農業が若い世代の方に受け継がれることを推進することで、農業従事者の高齢化対策を効果的に行ってまいります。

○議長（遠藤莉乃議員） 飯森議員。

〔大栄みらい学園 飯森議員 質問席で発言〕

○飯森美歩議員 私は、大栄みらい学園 9 年の飯森美歩です。ご答弁ありがとうございます。質問を続けます。

今の成田市は、先程の質問でもお伝えしましたように、農業従事者の担い手が少なく、年々農業従事者が減少している状況です。そこで、市内の農業従事者が年々減少していく中で、負担なく農業を続けられるように、市内の農業従事者への支援をもっと増やすべきではないでしょうか。今後の具体的な支援策は何かあるのか教えてください。

○議長（遠藤莉乃議員） 鬼澤経済部長。

〔経済部長 鬼澤正春 自席で発言〕

○経済部長（鬼澤正春） 飯森美歩議員の農業従事者への支援についてのご質問にお答え

いたします。

まず、現在実施している農業従事者への代表的な支援として、農業用機械の価格の最大 50 パーセントを補助する事業があります。この事業は、近隣自治体にはない本市独自のものです、補助を受けた農業従事者からは、高価な農業用機械であっても負担額が大幅に軽減できることから、大変好評を得ております。

また、国や県においては、農業用機械の補助事業以外の支援として、例えば新規就農する際に経営開始のための資金の助成や、サツマイモ貯蔵庫などの農業用施設に対する助成など様々な支援が用意されております。

本市といたしましては、農業従事者からの経営についての様々な相談に応じて、これらの支援と結び付け、農業に取り組みやすい環境を整えております。

今後は、農業用機械の補助事業や国、県の補助事業を継続して推進するとともに、昨今の物価高や自然災害などの突発的な問題への対策も実施するなど、支援の充実を図ってまいります。

○議長（遠藤莉乃議員） 飯森議員。

〔大栄みらい学園 飯森議員 質問席で発言〕

○飯森美歩議員 ご答弁ありがとうございます。私は、成田市の大栄という土地で育ってきました。大栄の特色は農業だと思っています。だんだんと農業従事者が減っている現在ですが、これからの将来を担う私たちが大栄の未来を考えて行動していくことが育った土地への恩返しだと思っています。このような場だけでなく、これからの日々の中でもしっかり考えていきたいです。

これで大栄みらい学園の質問を終わりにします。

（午後 2 時 15 分）

●成田高等学校附属中学校

○議長（遠藤莉乃議員） 次に、成田高等学校附属中学校 加瀬大翔議員及び伊藤和輝議員。

〔成田高等学校附属中学校 議員 2 名 登壇〕

○加瀬大翔議員 私は、成田高等学校附属中学校 2 年の加瀬大翔です。

成田市が行っているコロナ対策の中で、特に若い層への対策についてお伺いします。

今年のゴールデンウィークを境に各地の様々な規制が緩くなり、若者を始め、多くの世代が外出しているように感じています。最近、成田山参道ではマスクをはずして出歩いている若い人を多く見るようになりました。そのようなことは、若い人たちが段々コロナに対する恐怖感を忘れ、コロナの感染が広がることに慣れてしまい、あまり危惧していないという甘い考えによるものだと考えています。そのような考えを捨てるために、ある程度規制が必要です。しかし、規制が厳しすぎると経済がうまく回りません。

そこでお伺いします。現在成田市では、今申し上げた利害関係を含め、若い人たちのコロナ感染拡大を抑えるためにどのような対策をとっているのでしょうか。

○議長（遠藤莉乃議員） 小泉市長。

〔市長 小泉一成 登壇〕

○市長（小泉一成） 加瀬大翔議員の若者へのコロナ対策についてのご質問にお答えいたします。

新型コロナウイルス感染症の感染経路は、せき、くしゃみ、会話などのときに排出される飛沫や空気中に小さな粒子となっているエアロゾルの吸入、接触感染などと考えられていますことから、感染を防止するためには、密閉空間、密閉場所、密接場面、いわゆる「3つの密」を避けること、人と人との距離の確保、マスクの着用、手洗い、換気などの基本的な感染対策を徹底することが、若い方を含め、全ての方にとって重要であります。

また、現在新型コロナウイルス感染症の感染者数が増加しておりますが、本市では、感染の拡大や重症化する方を防ぐために、ワクチン接種を進めております。しかしながら、若い方の3回目接種の接種率が全国的に伸び悩んでいる状況となっており、本市の接種状況につきましても、12歳以上は2回目接種では8割以上の方が接種をしているものの、3回目接種では、ほかの年代と比べて、国や県と同様、低い水準となっておりますことから、ワクチン接種が円滑に進むよう取り組んでいるところであります。

また、感染対策の基本となるマスクの着用につきましては、本年 5 月 23 日に国の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」が変更され、マスクの着用が従来同様、基本的な感染防止対策として重要である位置づけに変更はない一方で、屋外では 2 メートル以上を目安とした人との距離が確保できる場合や、距離を確保できなくとも会話をほとんど行わない場合は、マスクを着用する必要はないとされております。また、屋内では、2 メートル以上を目安とした人との距離が確保でき、会話をほとんど行わない場合も同様に、マスクを着用する必要はないとされております。

しかしながら、通勤ラッシュなどの人混みに加え、高齢の方との面会、病院内など新型コロナウイルス感染症に感染すると重症化しやすい方と接するときはマスクの着用が勧められておりますので、マスクの着用の考え方について、広報なりたや市のホームページ、成田ケーブルテレビをはじめ、若い方の利用が多い SNS などを通じて引き続き周知を行い、感染対策の徹底を呼びかけてまいります。

本市では、先月に 3 年ぶりに成田祇園祭が行われ、また、来月には伝統芸能まつりが開催されるなど、新型コロナウイルス感染症が拡大する前の賑わいを取り戻しつつあります。今後も、各種イベントなどの実施に当たりましては、基本的な感染対策を講じつつ、ワクチン接種を希望する方が接種できるよう取り組むことにより、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と社会経済活動との両立を図ってまいります。

○議長（遠藤莉乃議員） 伊藤議員。

〔成田高等学校附属中学校 伊藤議員 質問席で発言〕

○伊藤和輝議員 私は、成田高等学校附属中学校 2 年の伊藤和輝です。ご答弁ありがとうございます。質問を続けます。

先程の質問の続きになりますが、私は若い層のコロナ感染者を抑えることが必要であると考えています。感染者を抑える方法としてワクチンを接種することが効果的だと考えました。しかし、若い層で 3 回目の接種を受けている人は、全体の 5 割にも及んでいません。そこで、市として、どのように若い人たちにワクチンを接種してもらおうと考えているのか、お答え願います。

○議長（遠藤莉乃議員） 高橋健康こども部長。

〔健康こども部長 高橋一夫 自席で発言〕

○健康こども部長（高橋一夫） 伊藤和輝議員の若者へのワクチン接種対策についてのご質問にお答えいたします。

ワクチンの３回目接種につきましては、先程市長よりご答弁申し上げましたとおり、全国的に若い方の接種率が伸び悩んでいる状況となっており、３回目の本市の接種状況といたしましては、接種率の高い 60 歳以上は今月 9 日時点において 87.1 パーセントであるのに対し、12 歳から 19 歳は 43.24 パーセント、20 歳代は 54.58 パーセントと国や県と同様、低い水準となっております。

若い方の接種が進まない理由といたしましては、ワクチン接種による痛みや発熱、頭痛などの副反応が、若い方に多いことなどから、接種を控えていることなどが考えられます。また、新型コロナウイルス感染症に感染した際に、若い方は重症化しにくいといわれていることも一つの理由と考えられます。

しかしながら、ワクチン接種は、自分自身を守るだけでなく、家族、友人、高齢者など、大切な方を守ることにもつながることから、本市といたしましては、ワクチン接種の必要性について、広報なりたや市のホームページ、成田ケーブルテレビに加え、SNS などを活用し、今後も若い方のワクチン接種が進むよう、呼びかけてまいります。

○議長（遠藤莉乃議員） 伊藤議員。

〔成田高等学校付属中学校 伊藤議員 質問席で発言〕

○伊藤和輝議員 ご答弁ありがとうございました。私の夢は医者になることです。現在医療従事者の方々は、新型コロナウイルスの影響で、体力面、精神面でも危機的状況に追い込まれています。そんな状況にもかかわらず、患者さんのために全力を尽くす医療従事者の方々はすごくカッコよく、尊敬します。私は、そんな医者になりたいと思いました。成田には空港や成田山などの観光名所、医療のことで言えば、国際医療福祉大学などがあります。全て魅力的な場所であり、多くの人が集まります。私は、そんな成田が大好きです。しかし、そのような場所を守るには、まず目の前の新型コロナウイルスに立ち向かう必要

があります。そのためにも、いろいろな政策をよろしくお願いします。

以上で成田高等学校附属中学校の質問を終わります。ありがとうございました。

(午後 2 時 25 分)

●吾妻中学校

○議長（遠藤莉乃議員） 次に、吾妻中学校 多田敦紀議員及び齊郷唯香議員。

〔吾妻中学校 議員 2 名 登壇〕

○多田敦紀議員 私は、吾妻中学校 2 年の多田敦紀です。

成田市が行っている教育施策について伺います。

私たちの学校の生徒指導だよりでは、今年度よりジェンダーレス社会への推進が考えられ、髪型や男女での服装の違いについての記載が変わりました。実際、女子生徒の中にはネクタイを着用する生徒も見られます。まだ購入はできませんが、レギンスの購入もできるように準備がされているそうですので、このような変化は今後も続きそうです。ニュースを見ていても、そういった動きは全国的に見られているように思います。生徒たちが主体的に制服を制定したり、ルールを決めたりしている学校があることも取り上げられていました。

そこでお伺いいたします。現在、成田市の中学校で、中学生たちが自主的にジェンダーレス社会への推進的な取組を行っている学校はあるでしょうか。生徒会としても、今後の参考にさせていただきたいです。

○議長（遠藤莉乃議員） 関川教育長。

〔教育長 関川義雄 登壇〕

○教育長（関川義雄） 多田敦紀議員の市内中学校のジェンダーレスに向けた取組についてのご質問にお答えいたします。

まず、生徒会として主体的にジェンダーレス社会に向けた取組をなさろうとしていることに、教育委員会としてこれを応援する立場で答弁させていただきます。

さて、市内中学校での生徒主体によるジェンダーレスに向けた具体的な取組についてで

ありますが、これまでの校則の見直しを図る中で、制服についても柔軟な対応をしていこうとする学校が多くなってきております。

具体的な例としましては、リボンやネクタイ、スカート、スラックスなどを自由に組み合わせ、自分の思いに合った制服を選択し、着用できるようにしている学校が増えてきました。このようなことから、今後も生徒の個性や意見を反映させた校則づくりは、各学校において一層推進されていくものと考えております。

また、校則については、教育委員会から各学校に対して、本当に必要なものかどうかというところから生徒を交えて議論し、生徒が納得したうえで作り上げていくことが望ましいという考え方を示し、積極的に見直しが図れるよう努めているところであります。

今回ご質問いただきました、制服の見直しを含めたジェンダーレスの視点に立った議論につきましては、学校の校則の問題だけではなく、一人ひとりの人間が生まれ持った身体や環境の違いにより、不当な差別を受けたり、不利益を被ったりすることなく共に支え合って生きていく社会、いわゆる共生社会を築いていくために必要となる大事な問題でもあります。

これからは、どの学校においても生徒の皆さんにこうした問題について深く考えていただけるよう、教育委員会から各学校に対して指導、助言してまいります。

○議長（遠藤莉乃議員） 齊郷議員。

〔吾妻中学校 齊郷議員 質問席で発言〕

○齊郷唯香議員 私は、吾妻中学校 2 年の齊郷唯香です。

ご答弁ありがとうございます。質問を続けます。

私たち中学生は、多くの悩みを抱えがちです。そういった悩みを相談できるよう、スクールカウンセラーの先生が毎週金曜日に来てくれており、話を聞いてもらっている生徒も多くいます。しかし男性の先生なので、女子生徒からすると話しにくい相談内容もあります。

私は、ジェンダーレス社会への移行に当たり、全ての学校で男女両方のスクールカウンセラーの配置が必要であると考えておりますが、市としてどのように考えているのか、お

答え願います。

○議長（遠藤莉乃議員） 堀越教育部長。

〔教育部長 堀越正宏 自席で発言〕

○教育部長（堀越正宏） 齊郷唯香議員の男女両方のスクールカウンセラーの配置についてのご質問にお答えいたします。

まず、スクールカウンセラーは、県が全ての小中学校に配置しているもので、本市におけるどの学校においても1名ずつ配置されております。

このため、男性のカウンセラーが配置されている学校では、女子生徒が相談しにくい場面が生じることがあるかと思います。各学校に配置されているスクールカウンセラーの多くは心理士の資格を持った相談に関する専門家であり、相談者の悩みに寄り添い、丁寧に話を聞いてくれる存在ですので、性別に関係なく、どんな悩みでも安心して相談して欲しいと考えております。しかしながら、相談しにくい内容であれば、まずは、担任の先生や養護教諭など、校内の話しやすい先生方に相談していただきたいと思います。

また、本市では、全ての小学校に市独自の教育相談員を配置し、様々な悩みや相談に応じているところですが、学校内に相談しやすい方がいない時は、教育委員会でも電話相談を行っておりますので、是非ご利用いただきたいと思いますと考えております。

○議長（遠藤莉乃議員） 吾妻中学校 齊郷議員。

〔吾妻中学校 齊郷議員 質問席で発言〕

○齊郷唯香議員 ご答弁ありがとうございます。私は、吾妻中学校の生徒会役員の一員です。今回の中学生議会でご答弁していただいたことを基に生徒会として、より良い学校生活を送れるよう努めていきたいと思います。また、この貴重な機会に参加できたということ、これからの学校生活などでいかして行きたいと思います。

これで吾妻中学校からの質問を終わりにします。

（午後2時35分）

○議長（遠藤莉乃議員） これで、全ての代表質問が終了しました。

（午後 2 時 35 分）

◎市長の講評

○議長（遠藤莉乃議員） ここで、小泉市長より講評をお願いいたします。小泉市長。

〔市長 小泉一成 登壇〕

○市長（小泉一成） 中学生議員の皆さん、大変お疲れさまでした。皆さんからのご質問に対し、全ての答弁が終了いたしましたので、最後に私から「講評」を述べさせていただきます。

本日、皆さんからいただいた質問は、成田市が直面している課題であり、中学生議員のまちを愛する気持ちが伝わってまいりました。そして若者ならではの視点から本当にすばらしい質問であったと思います。

また、堂々と発言している姿は大変立派であり、とても感心しました。皆さんが成田市の未来について、一生懸命に考えてくれているという熱意が伝わり、大変うれしく、そして心強く、頼もしく思います。それだけに、私や各部長も全力で答弁をさせていただきました。

皆さんからいただいた貴重なご質問や提言は、今後、私がモットーとしております『住んでよし 働いてよし 訪れてよしの生涯を完結できる空の港まち なりた』の実現に向けて大いに反映し、また、今後の成田市の発展のために役立てていきたいと思っています。

本日、皆さんは自分の意見を述べるだけでなく、他の中学生議員の質問や意見にも耳を傾け、市からの様々な答弁を聞いていただき、見聞が広がったのではないのかなと思います。どうか本日の経験を、これからの学校生活や、今後の人生にいかしていただき、大きくみなさんが成長、羽ばたくことを期待しております。そして、成田市がより住みやすいまちになるよう、皆さんと一緒に考えていくことができれば、大変うれしく思います。

結びに当たりまして、本日、お忙しい中、傍聴をしていただきました保護者の皆様、中

学生議会に協力していただきました学校関係者の皆様に感謝を申し上げて、中学生議会の講評といたします。

中学生議員の皆さん、改めて大変お疲れさまでございました。

(午後 2 時 39 分)

◎閉会の宣告

○議長（遠藤莉乃議員） これをもって、今議会の日程は終了いたしました。

以上をもちまして、「令和 4 年度成田市中学生議会」を閉会いたします。ご協力ありがとうございました。

(午後 2 時 40 分)